

# 世界インパクト 投資ファンド (資産成長型)

【愛称：Better World】

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：世インパ成長

2022年8月11日から2023年8月10日まで

第 6 期 決算日：2023年8月10日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	16,449円
純資産総額(期末)	45,912百万円
騰落率(当期)	+7.6%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

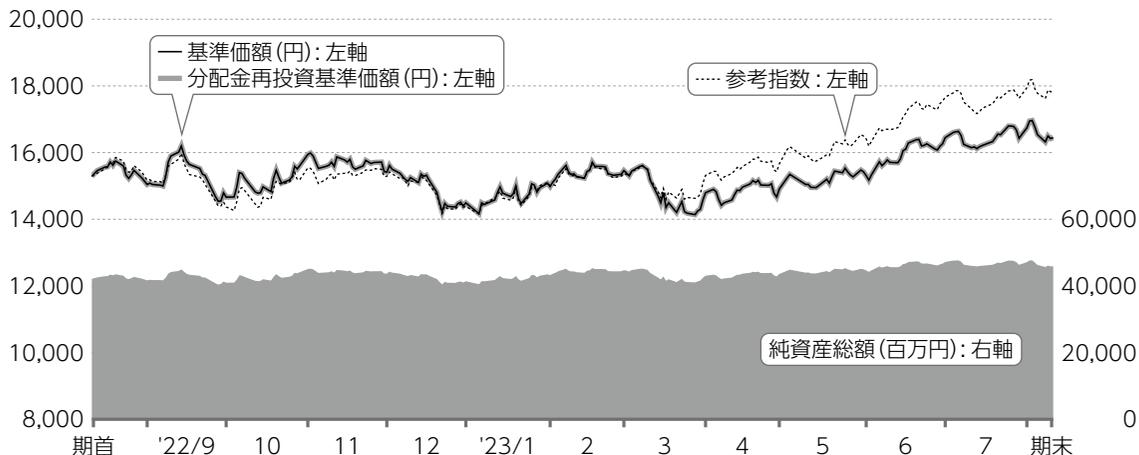
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	15,289円
期末	16,449円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+7.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から、社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行いました。

#### 上昇要因

- 実質的に保有している株式が上昇したこと

米国の太陽光パネルメーカーであるファースト・ソーラーは、米国のインフレ抑制法の恩恵を受けると期待されたことや、中国におけるシリコン素材サプライチェーン(供給網)の人権問題が浮上し、輸入代替として同社への期待が高まったこと、また、2023年1-3月期の業績発表において大きな増収増益と受注残の積み上がりを報告したことを受け株価が上昇しました。

米国の大手製薬会社であるイーライリリーは、2型糖尿病治療薬「マンジャロ」の売上が予想以上に好調であり、通期業績の見通しを上方修正したことや肥満治療薬としての「マンジャロ」のフェーズ3臨床試験のトップライン結果が好感されました。

電力会社向け送電・配電設備の部品・機器を製造する米国のハッベルは、老朽化する米国の送電網更新需要を背景に高まる同社製品・ソリューションへの需要増を背景に、好調な四半期決算を発表したことを受け株価が上昇しました。

- 為替市場において、実質的な投資国通貨が対円で上昇したこと

### 下落要因

- 実質的に保有している株式が下落したこと

中小企業向けにITシステム全体の脆弱性管理サービスを提供する米国のラピッド7は景気後退による企業のIT投資の鈍化の影響が懸念される中で業績見通しの下方修正を発表したことを受け株価が下落しました。

太陽光発電システム用のパワーコンディショナ・オプティマイザメーカーのソーラーエッジテクノロジーは、2023年8月に発表した第2四半期決算と第3四半期のガイダンス(会社が発表する業績予想)が市場の予想を下回り、同社の過剰在庫資産に関する懸念が浮上したことを背景に、株価が大幅に下落しました。

ライフサイエンス産業の研究施設に特化した米国の不動産会社であるアレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズは、2023年3月のシリコンバレー銀行破綻を発端とする信用収縮によるライフサイエンス産業への波及効果や金利の上昇によるコスト増などが懸念されたことで株価が下落しました。

1万口当たりの費用明細(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>304円</b>	<b>1.980%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> 期中の平均基準価額は15,375円です。
(投信会社)	(178)	(1.155)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(118)	(0.770)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(8)	(0.055)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>4</b>	<b>0.027</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(4)	(0.025)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>3</b>	<b>0.022</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.022)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>7</b>	<b>0.043</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b> 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(6)	(0.036)	
(監査費用)	(1)	(0.006)	
(その他)	(0)	(0.001)	
<b>合計</b>	<b>319</b>	<b>2.072</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

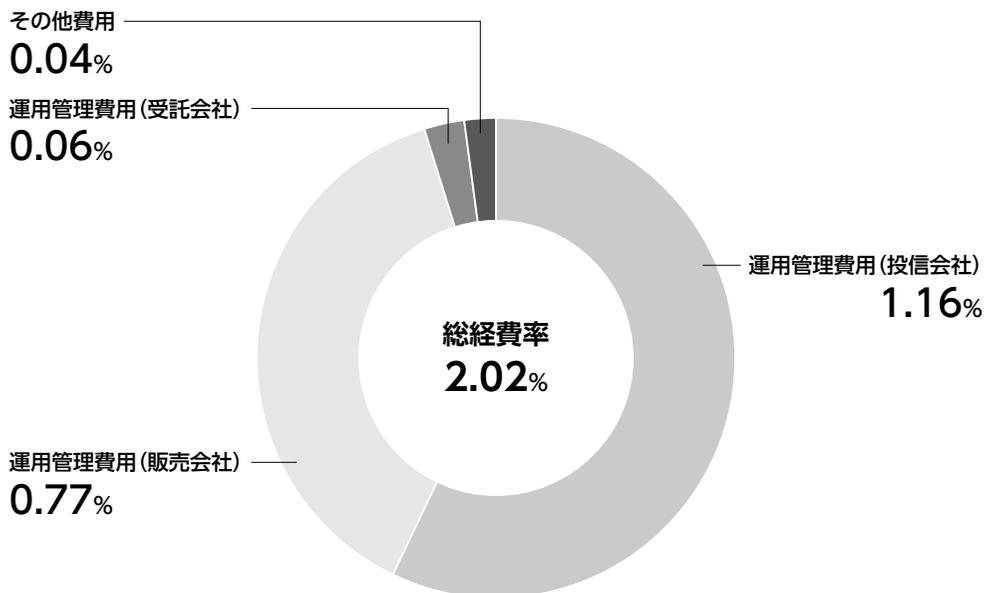
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

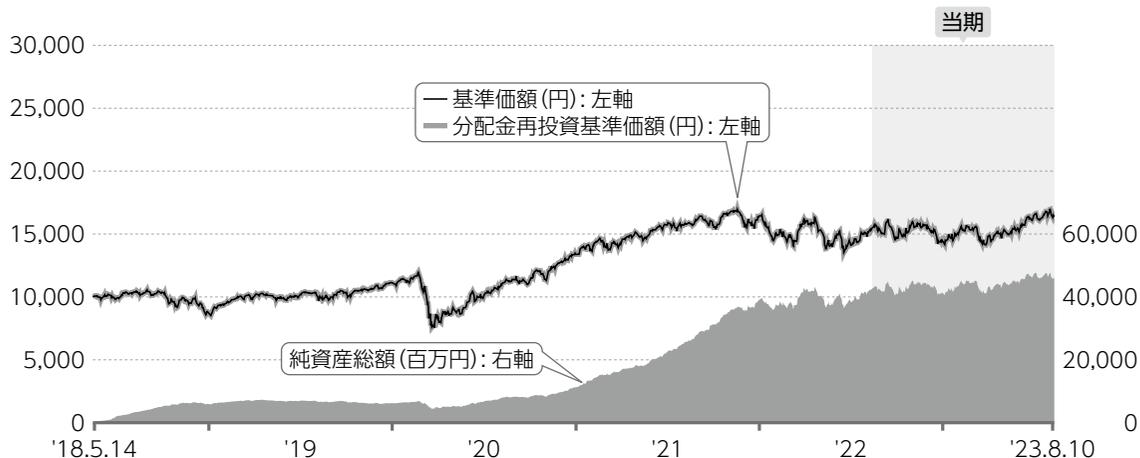
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.02%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年5月14日から2023年8月10日まで)

最近5年間の推移



		2018.5.14	2019.8.13	2020.8.11	2021.8.10	2022.8.10	2023.8.10
		設定日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額	(円)	10,000	9,852	11,158	15,817	15,289	16,449
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-1.5	13.3	41.8	-3.3	7.6
参考指数騰落率	(%)	—	-3.6	14.3	36.7	8.7	16.6
純資産総額	(百万円)	1	6,607	8,044	25,794	42,108	45,912

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。また、為替市場では主要通貨が円に対して上昇しました。

### グローバル株式市場

期間の初めは、米国金融引き締め of 長期化観測や長引く高インフレによる景気後退リスクが重石となり市場は大幅調整を強いられました。インフレのピークアウト感が強まり米国長期金利(10年国債利回り)が低下したことや中国のゼロコロナ政策の緩和を背景に回復基調に転じました。期間の後半は2023年3月に米欧金融システム不安で一時急落した場面もありましたが、各国当局の迅速な対応で危機は収束され、期間末には半導体関連株が相場をけん引し、株式市場は底堅い動きを見せました。

### 為替市場

期間の初めと比較して期間末の円相場は、主要通貨に対して円安となりました。

期間の前半にはF R B(米連邦準備制度理事会)による利上げペースの減速期待の高まりを背景に米長期金利が低下したことや、政府による介入などから主要通貨に対し円高となる場面もありました。2023年3月に入るとシリコンバレー銀行破綻を発端とする米欧金融システム不安で3月中旬にかけてリスク回避の円高となる展開となりましたが、4月に入り新総裁を迎えた日本銀行が緩和的な金融政策姿勢を維持したことで円安基調は継続しました。

ポートフォリオについて(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

---

## 当ファンド

主要投資対象である「世界インパクト投資マザーファンド」を期間を通じて高位に組み入れました。

---

## 世界インパクト投資マザーファンド

### ●個別銘柄

期間においては、米国の大手医療機器・医薬品メーカーのアボットラボラトリーズの新規購入等を実施しました。一方、スペインの再生可能エネルギー事業者のアクシオナの全売却等を実施しました。

### ●ポートフォリオの特性

国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の17の目標のうち、「衣食住の確保」、「生活の質向上」、「環境問題」の3つのカテゴリーに注目して投資を行いました。

また、この3つのカテゴリーの中から、それぞれ3～4種類の投資テーマを設定し、11の投資テーマに基づき、地球環境問題や世界の社会的課題の解決につながる革新的な技術や事業を手掛け、新しい市場を切り開いているインパクト企業に厳選投資しました。

---

### ザイレム

水問題の解決に注力する水処理技術のリーディングカンパニー。上下水道用の製品やソリューションの提供により効率的な水浄化サイクルの実現に取り組む同社は、エヴォクア・ウォーター・テクノロジーを買収したことで、産業向け高純度の水の提供や、産業排水の処理、上水道の浄化などの分野が事業ポートフォリオに加わり、水問題に関して多角的なアプローチができる点を社会的インパクトとして評価しています。

KPI(重要業績評価指標)：2019年以来再利用可能に処理した水の量(単位：十億立方メートル)

### 組入上位銘柄

---

### ボストン・サイエンティフィック

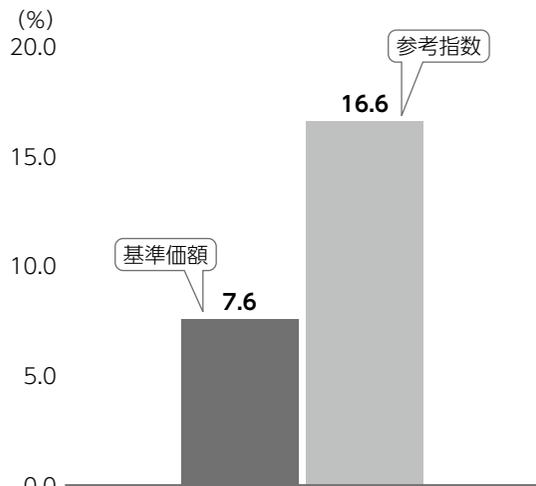
心血管疾患治療の分野におけるリーディング・プレーヤーである同社は、開胸手術により患者への負担を軽減することができる低侵襲治療に用いられる埋め込み型デバイスやバルーンカテーテルを製造・販売しており、患者の生活の質の向上に貢献する点を社会的インパクトとして評価しています。

KPI：同社のサービスを受けた患者数

---

ベンチマークとの差異について(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第6期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,448

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「世界インパクト投資マザーファンド」への投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指して運用を行います。

### 世界インパクト投資マザーファンド

継続的な調査を通じて、広範の地域および投資テーマにおいて多くの投資機会を発掘します。引き続き、投資テーマ別調査の拡大に取り組み、革新的な技術を有する企業、安定成長が見込まれる企業および継続可能な競争優位性を有する企業に注目し、ビジネス・サイクルおよび投資テーマの分散に努めます。

## 3 お知らせ

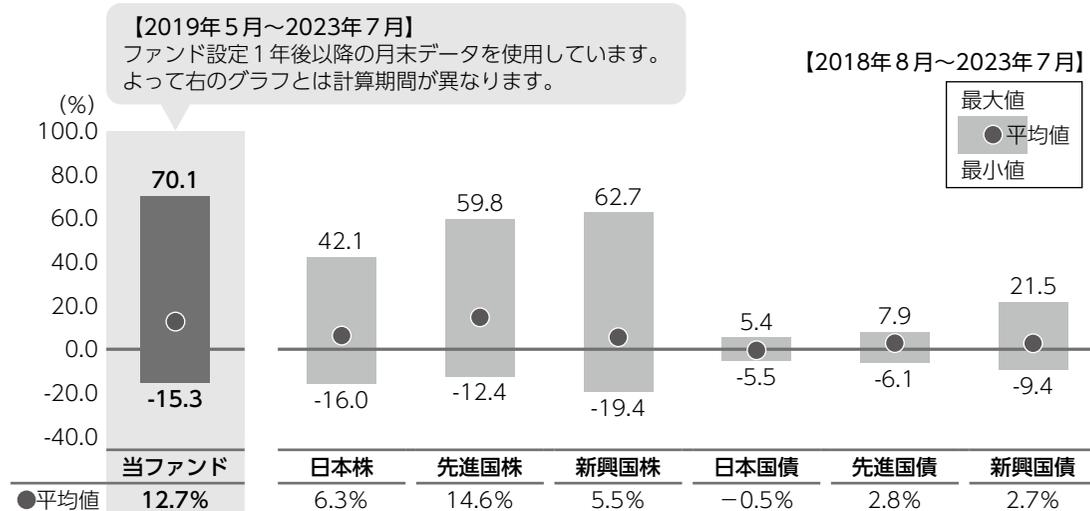
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2018年5月14日から2036年8月12日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>世界インパクト投資マザーファンド</b> 世界の金融商品取引所に上場する株式
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> <li>■実質的な運用は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが行います。</li> </ul>
組 入 制 限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <p><b>世界インパクト投資マザーファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年8月10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX(東証株価指数、配当込み)</b> 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	<b>MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI(国債)</b> 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

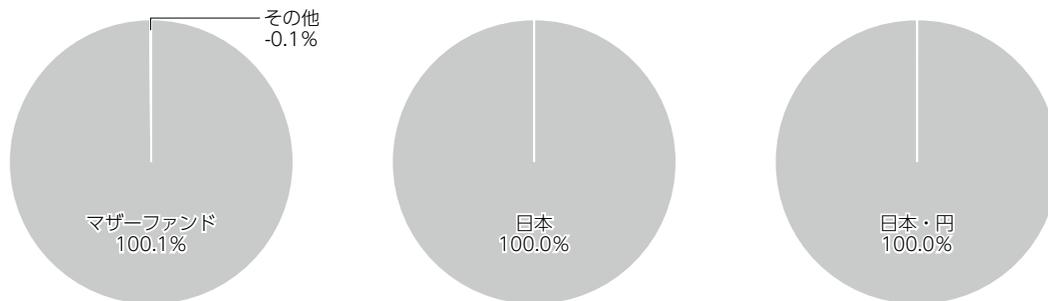
### 当ファンドの組入資産の内容(2023年8月10日)

#### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
世界インパクト投資マザーファンド	100.1%
コールローン等、その他	-0.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

項目		第6期末 2023年8月10日
純資産総額	(円)	45,912,814,765
受益権総口数	(口)	27,912,999,340
1万口当たり基準価額	(円)	16,449

※当期における、追加設定元本額は5,046,878,962円、解約元本額は4,675,471,378円です。

組入上位ファンドの概要

世界インパクト投資マザーファンド(2022年8月11日から2023年8月10日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	内訳	金額	内訳
売買委託手数料	(株式) (投資信託証券)	6	(6) (1)
有価証券取引税	(株式) (投資信託証券)	5	(5) (0)
その他費用	(保管費用) (その他)	9	(8) (0)
合計		20	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

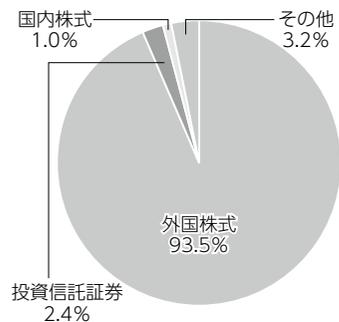
(基準日：2023年8月10日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	XYLEM INC	資本財	3.1%
2	BOSTON SCIENTIFIC CORP	ヘルスケア機器・サービス	2.9%
3	ABBOTT LABORATORIES	ヘルスケア機器・サービス	2.7%
4	HUBBELL INC	資本財	2.6%
5	BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	銀行	2.5%
6	GLOBE LIFE INC	保険	2.5%
7	WABTEC CORP	資本財	2.5%
8	GODADDY INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	2.5%
9	TRANE TECHNOLOGIES PLC	資本財	2.4%
10	SCHNEIDER ELECTRIC SE	資本財	2.0%
	全銘柄数	66銘柄	

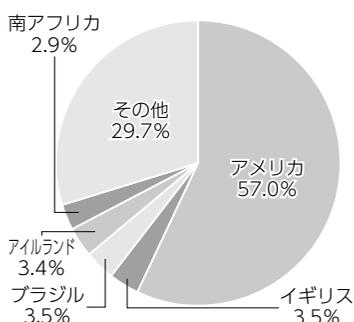
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

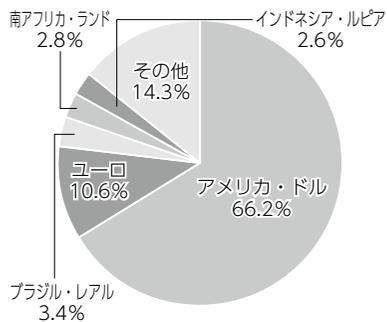
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2023年8月10日現在です。